

令和2年度 第2回
希望郷いわてモニターアンケート

動物の愛護及び管理に関する意識調査報告書

令和2年9月
岩手県環境生活部県民くらしの安全課

I アンケート調査の概要

1 調査課題名

動物の愛護及び管理に関する意識調査

2 調査の目的

動物の愛護及び管理に関する県民の意識を把握することで、岩手県動物愛護管理推進計画の着実な推進を図るとともに、本計画の見直しのための参考とするものである。

3 調査期間

令和2年7月6日（月）から7月20日（月）まで

4 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

5 調査対象

令和2，3年度希望郷いわてモニター 203名

6 回答者数

178名

7 回答率

87.7%

8 回答者属性

性別	男性	女性	合計
人数	77	101	178
構成率（%）	43.3%	56.7%	100%

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	合計
人数	15	26	30	29	78	178
構成率（%）	8.4%	14.6%	16.9%	16.3%	43.8%	100%

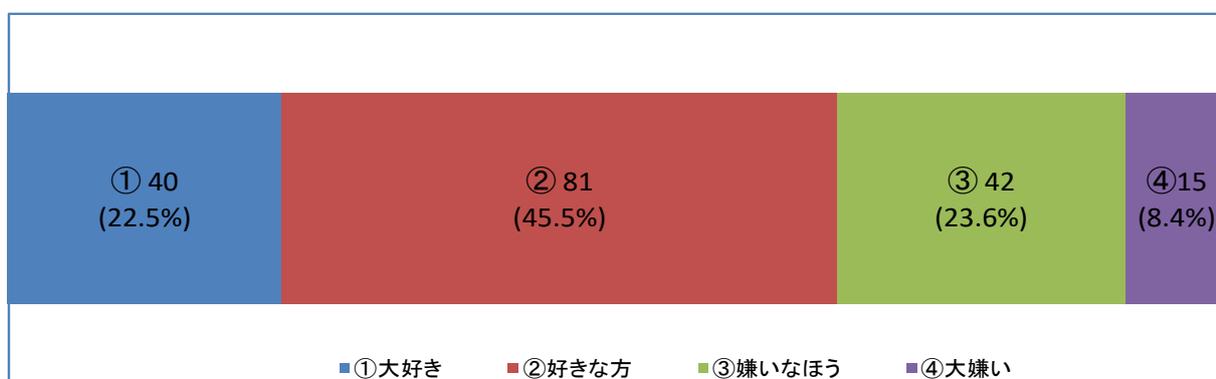
Ⅱ アンケート集計結果

1 ペットの飼育状況について

問1 あなたは、動物を飼うのが好きなほうですか、嫌いなほうですか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①大好き
- ②好きなほう
- ③嫌いなほう
- ④大嫌い

図1 ペット飼育の好き嫌い

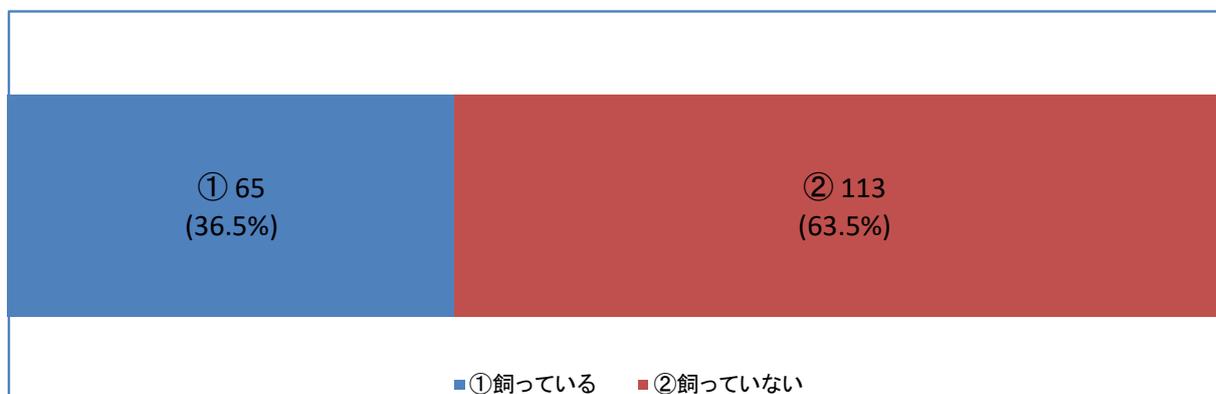


ペットを飼うのが「好き」とする者が68.0%であり、前回調査（平成24年8月実施。以下同じ）の69.3%とほぼ同様の結果であった。

問2 御自宅ではペットとして動物を飼っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ①飼っている（①を選んだ方は、問3にお進みください。）
- ②飼っていない（②を選んだ方は、問15にお進みください。）

図2 ペット飼育の有無



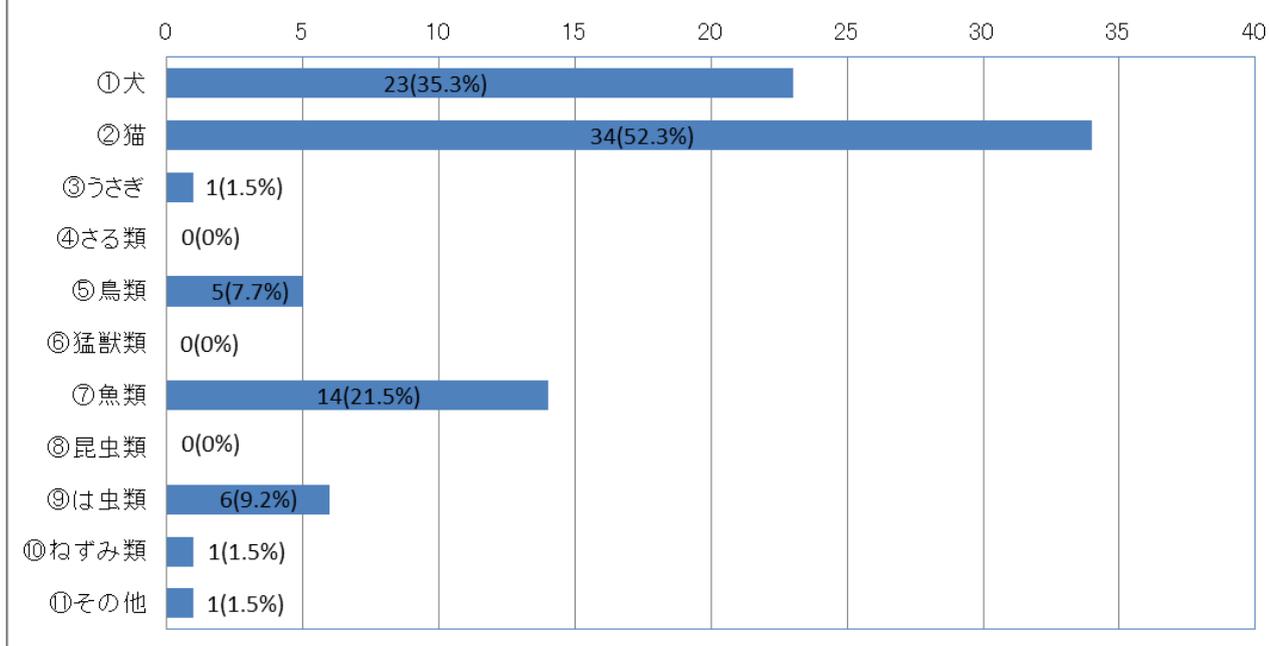
ペットを飼育している者は36.5%（前回調査34.8%）であった。

問3 問2で「①飼っている」を選んだ方にお伺いします。

それはどのようなペットですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 犬 (①を選んだ方は、問4～8、問14にお進みください。)
- ② 猫 (②を選んだ方は、問4、問9～13、問14にお進みください。)
- ③ うさぎ (③を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ④ さる類 (④を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ⑤ 鳥類 (⑤を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ⑥ 猛獣類 (⑥を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ⑦ 魚類 (⑦を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ⑧ 昆虫類 (⑧を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ⑨ は虫類 (⑨を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ⑩ ねずみ類 (⑩を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)
- ⑪ その他 () (⑪を選んだ方は、問4、問14にお進みください。)

図3 飼っているペットの種類



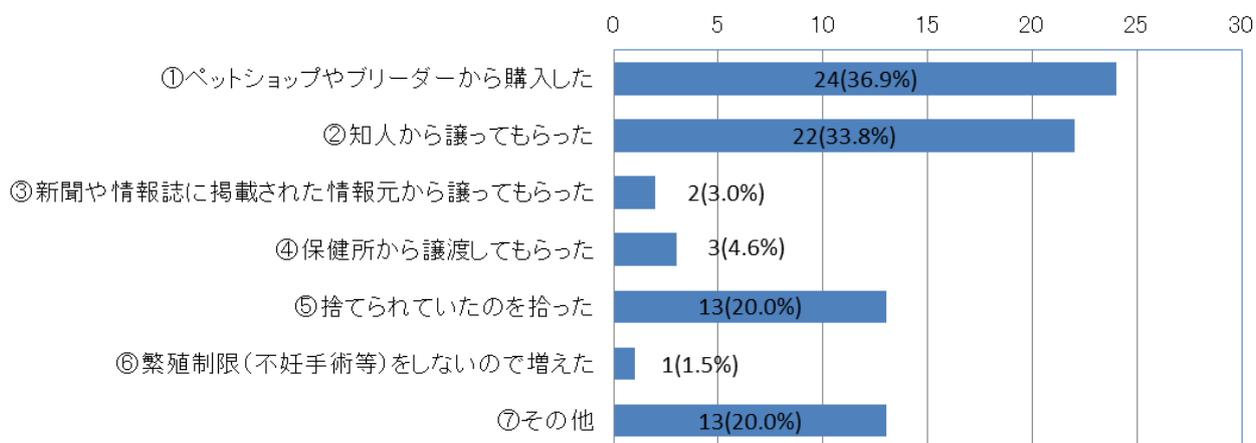
ペットを飼っていると回答した者（65名）に飼っているペットの種類を聞いたところ、「犬」と答えた者が35.3%と前回調査の48.9%から減少している一方、「ねこ」と回答した者は52.3%と前回調査の36.2%から増加していた。また、ねずみ類、鳥類、は虫類と回答した者はそれぞれ1.5%（前回調査4.3%）、7.7%（前回調査7.4%）、9.2%（前回調査5.3%）とねずみ類は減少、鳥類はほぼ同様、は虫類は増加していた。

問4 問2で「①飼っている」を選んだ方にお伺いします。

問3で選んだペットは、どのような方法で入手しましたか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① ペットショップやブリーダーから購入した
- ② 知人から譲ってもらった
- ③ 新聞や情報誌に掲載された情報元から譲ってもらった
- ④ 保健所から譲渡してもらった
- ⑤ 捨てられていたのを拾った
- ⑥ 繁殖制限（不妊手術や去勢手術など）をしないため増えた
- ⑦ その他（ ）

図4 ペットの入手方法



ペットを飼っていると回答した者（65名）に、その入手法（複数回答あり）を聞いたところ、「ペットショップやブリーダーから購入した」が36.9%（前回調査42.6%）と最も多く、次いで「知人から譲ってもらった」が33.8%（前回調査39.4%）、「捨てられているのを拾った」が20.0%（前回調査13.8%）であった。

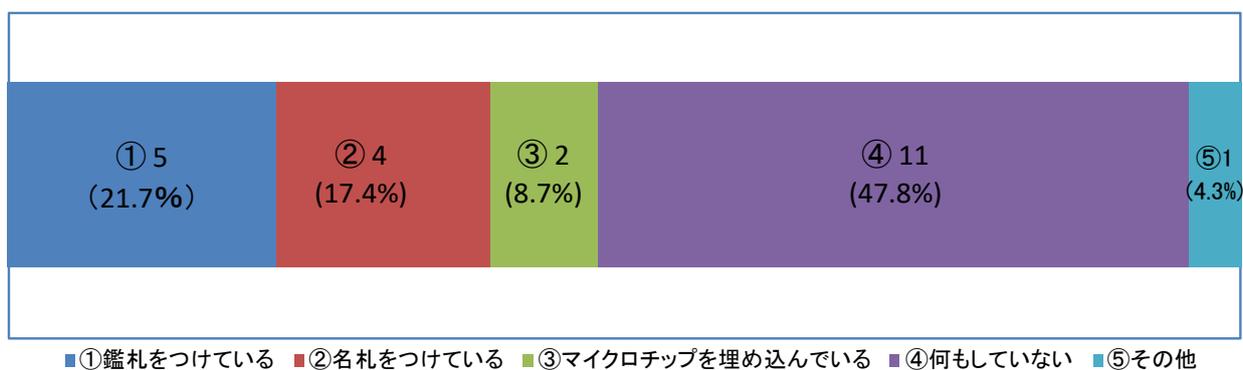
2 ペット飼育に関する意識について

問5 問3で「①犬」を選んだ方にお伺いします。

飼っている犬に所有者の氏名、住所などが分かるように鑑札や名札、マイクロチップなどを装着し、飼い主が誰であるか分かるようにしていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 鑑札をつけている（①を選んだ方は、問7にお進みください。）
- ② 名札をつけている（②を選んだ方は、問7にお進みください。）
- ③ マイクロチップを埋め込んでいる（③を選んだ方は、問7にお進みください。）
- ④ 何もしていない（④を選んだ方は、問6にお進みください。）
- ⑤ その他（ ）（⑤を選んだ方は、問7にお進みください。）

図5 所有者明示の方法(犬)

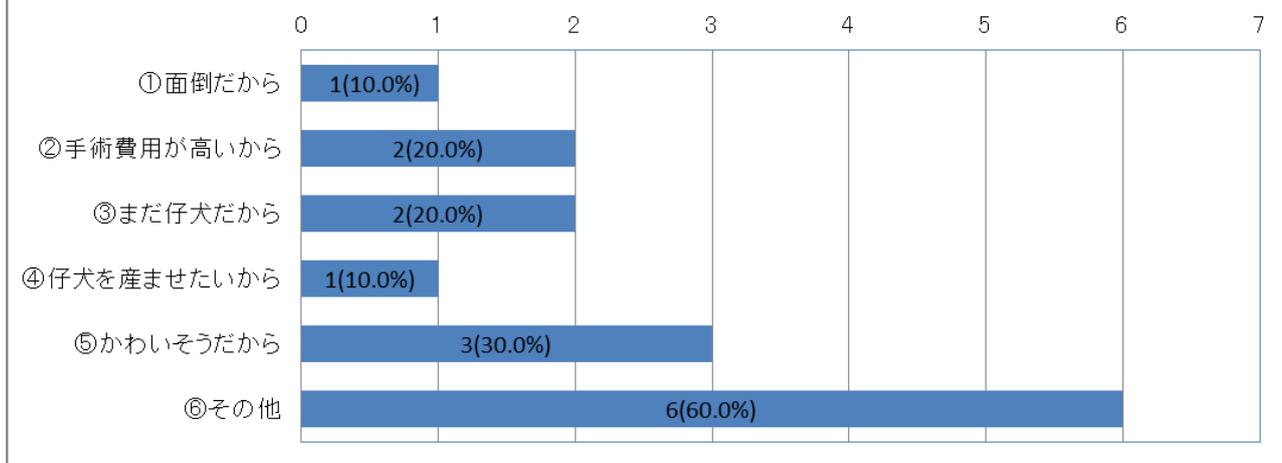


犬を飼っていると回答した者（23名）に、所有者明示の方法を聞いたところ、「何もしていない」が47.8%（前回調査54.3%）であった。所有者明示の方法としては、「鑑札をつけている」が21.7%（前回調査30.4%）、次いで「名札をつけている」が17.4%（前回調査15.2%）であった。

問8 問7で「②手術をしていない」を選んだ方にお伺いします。
その理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 面倒だから
- ② 手術費用が高いから
- ③ まだ子犬だから
- ④ 子犬を産ませたいから
- ⑤ かわいそうだから
- ⑥ その他 ()

図8 不妊・去勢手術をしない理由(犬)



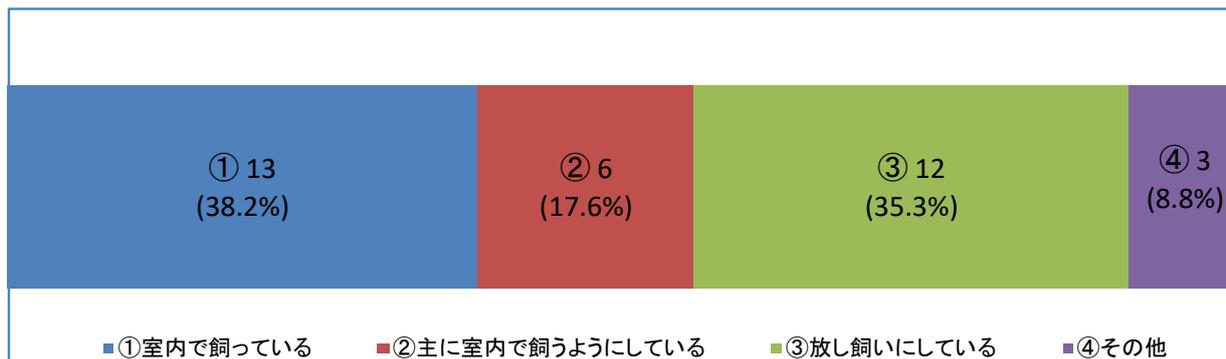
犬を飼っており、不妊・去勢手術を行っていないと回答した者（10名）にその理由について聞いたところ（複数回答あり）、「かわいそうだから」30.0%（前回調査16.0%）、「手術費用が高いから」20.0%（前回調査20.0%）、「まだ仔犬だから」20.0%（前回調査24.0%）の順であった。その他の理由としては、「室内で飼っているから」が20.0%と最も多かった。

問9 問3で「②猫」を選んだ方にお伺いします。

あなたは、猫をどのように飼っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 室内で飼っている
- ② 主に室内で飼うようにしている
- ③ 放し飼いにしている
- ④ その他 ()

図9 猫の飼育方法



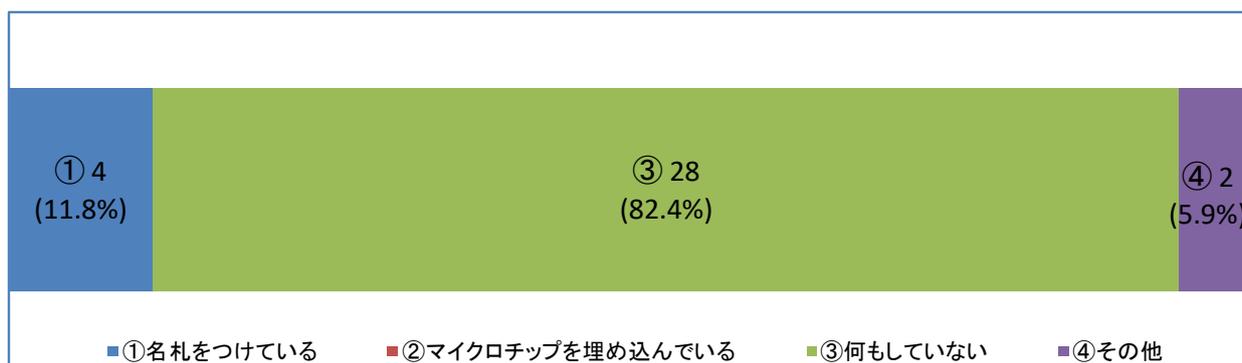
猫を飼っていると回答した者（34名）に、どのように飼っているか聞いたところ、「室内で飼っている」が38.2%と前回調査（38.2%）と同様であったが、「主に室内で飼うようにしている」は17.6%（前回調査35.3%）と減少し、「放し飼いにしている」との回答は35.3%（前回調査17.7%）と増加した。

問10 問3で「②猫」を選んだ方にお伺いします。

飼っている猫に所有者の氏名、住所などが分かるように名札やマイクロチップなどを装着し、飼い主が誰であるか分かるようにしていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 名札をつけている（①を選んだ方は、問12にお進みください。）
- ② マイクロチップを埋め込んでいる（②を選んだ方は、問12にお進みください。）
- ③ 何もしていない（③を選んだ方は、問11にお進みください。）
- ④ その他（ ）（④を選んだ方は、問12にお進みください。）

図10 所有者明示の方法(猫)

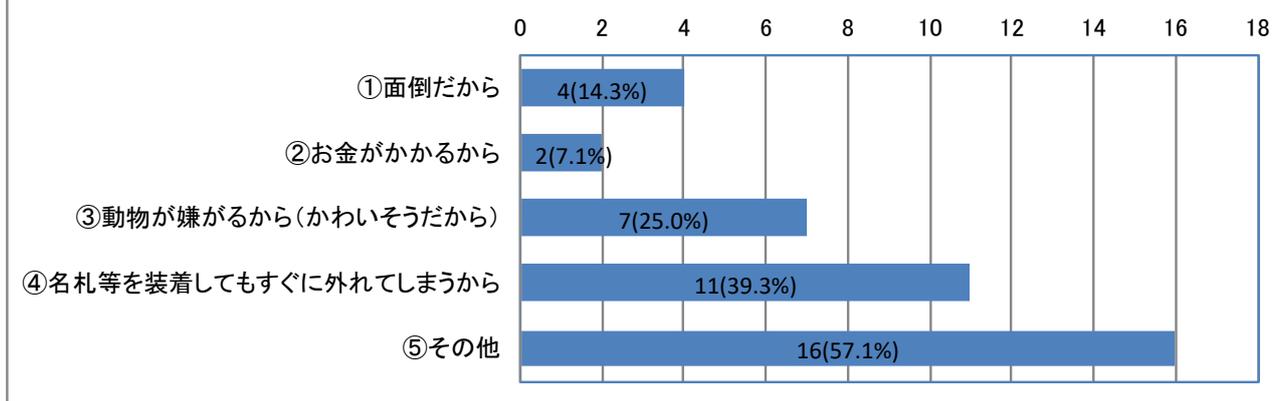


猫を飼っていると回答した者（34名）に、所有者明示の方法について聞いたところ、「何もしていない」が82.4%（前回調査67.7%）と最も多かった。所有者明示の方法としては、「名札をつけている」11.8%（前回調査20.6%）のみで、「マイクロチップを埋め込んでいる」は0%（前回調査8.9%）であった。

問11 問10で「③何もしていない」を選んだ方にお伺いします。
その理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 面倒だから
- ② お金がかかるから
- ③ 動物が嫌がるから（かわいそうだから）
- ④ 名札等を装着してもすぐに外れてしまうから
- ⑤ その他（ ）

図11 所有者明示をしない理由(猫)



猫を飼っており、所有者明示をしていないと答えた者（28名）に、所有者明示をしていない理由について聞いたところ、「名札等を装着してもすぐに外れてしまうから」が39.3%（前回調査8.7%）と最も多く、次いで「動物が嫌がるから」25.0%（前回調査30.4%）であった。「その他」の項目では「室内で飼っているから」7.1%（前回調査30.4%）が最も多く、猫の室内飼育の増加が影響しているものと考えられる。

問12 問3で「②猫」を選んだ方にお伺いします。

飼っている猫に去勢又は不妊の手術をしていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 手術をしている（①を選んだ方は、問14にお進みください。）
- ② 手術をしていない（②を選んだ方は、問13にお進みください。）

図12 不妊・去勢手術をしているか(猫)

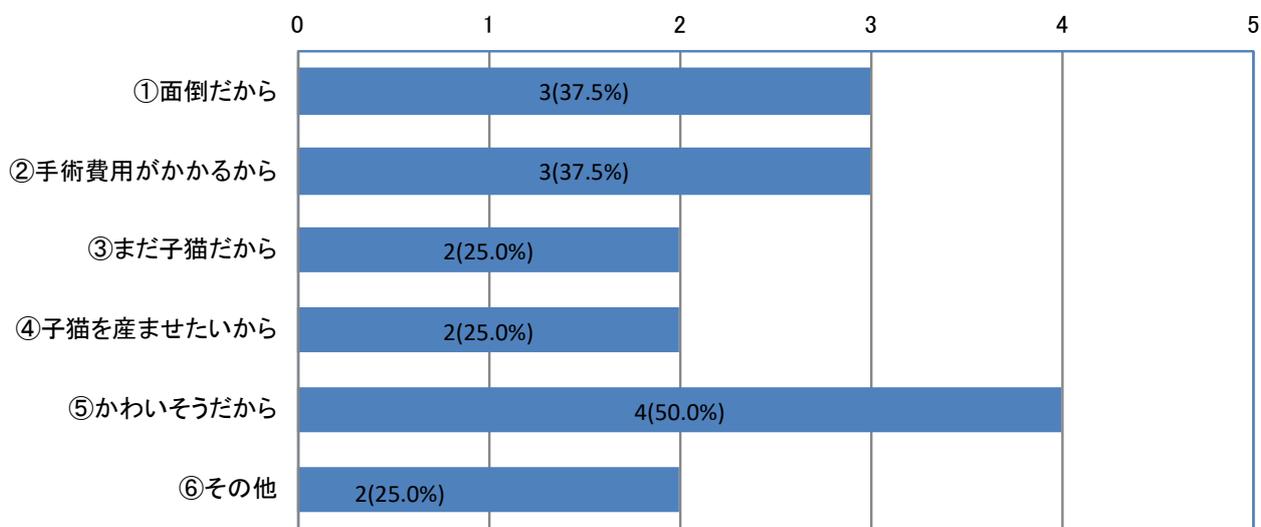


猫を飼っていると回答した者（34名）のうち、不妊・去勢手術を実施していると回答した者は76.5%（前回調査64.7%）で、前回調査よりも増加し、繁殖制限に対する意識の高まりによるものと推察された。

問 13 問 12 で「②手術をしていない」を選んだ方にお伺いします。
その理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 面倒だから
- ② 手術費用が高いから
- ③ まだ子猫だから
- ④ 子猫を産ませたいから
- ⑤ かわいそうだから
- ⑥ その他 ()

図13 不妊・去勢手術をしない理由(猫)



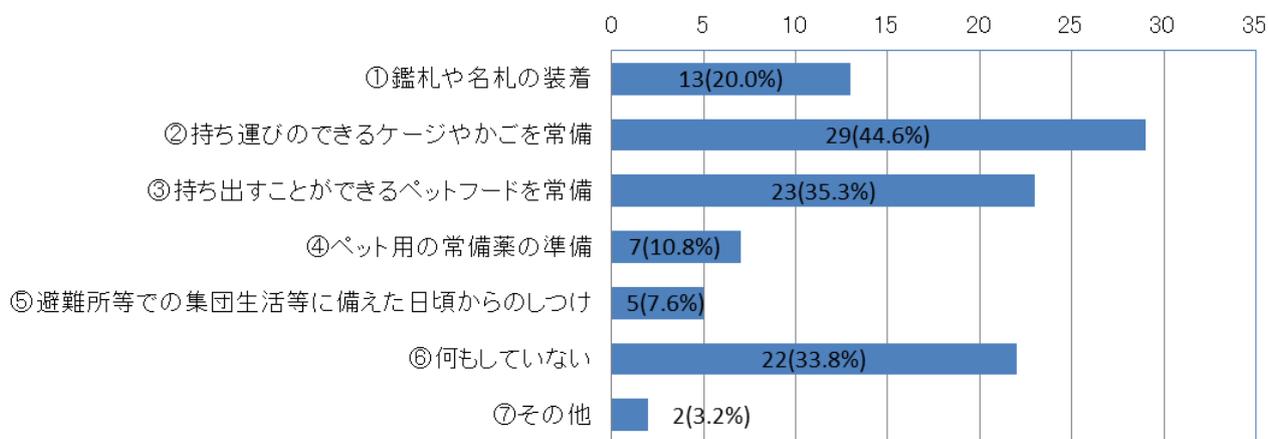
猫を飼っており、不妊去勢手術をしていないと回答した者（8名）に、その理由について聞いたところ（複数回答あり）、「かわいそうだから」が50.0%（前回調査16.7%）が最も多かった。次いで、「面倒だから」37.5%（前回調査8.3%）、「手術費用がかかるから」37.5%（前回調査33.3%）であった。

問 14 問 2 で「①飼っている」を選んだ方にお伺いします。

あなたは、日頃から災害発生時のペット対策を講じていますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 行方不明になっても飼い主が判るように、鑑札や名札を装着している
- ② 同行避難等のため、持ち運びのできるケージやかごを常備している
- ③ 持ち出すことができるペットフードを常備している
- ④ ペット用の常備薬を準備している
- ⑤ 避難所等での集団生活等に備え、日頃からしつけを実施している
- ⑥ 何もしていない
- ⑦ その他 ()

図14 災害時のペット対策



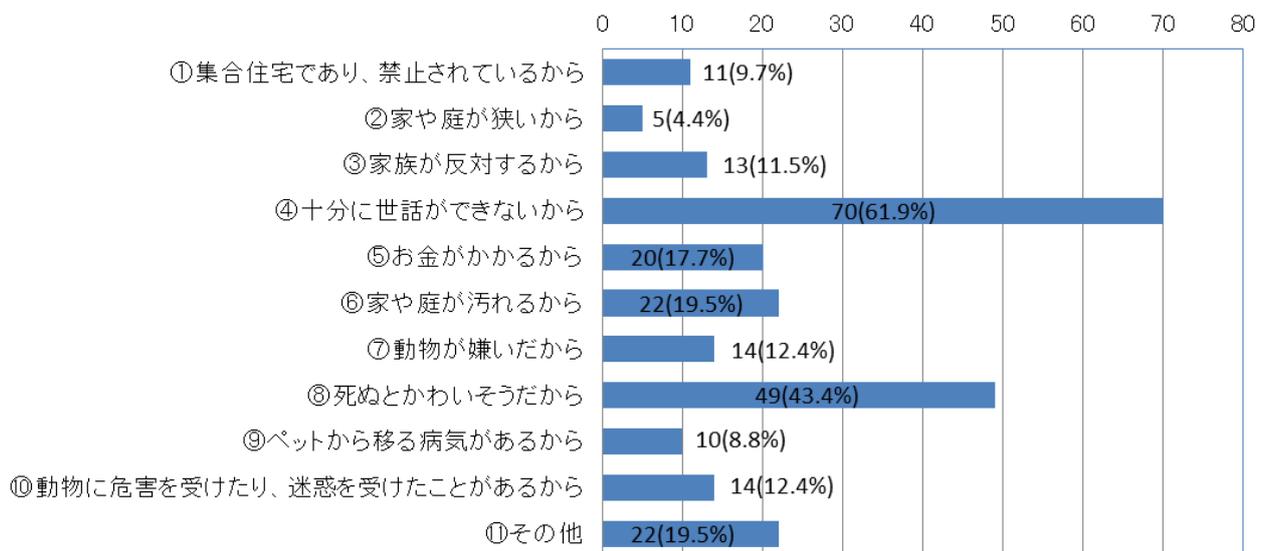
ペットを飼っていると回答した者（65名）に、その理由について聞いたところ、「同行避難等のため、持ち運びのできるケージやかごを常備している」44.6%（前回調査40.4%）、「持ち出すことができるペットフードを常備している」35.3%（前回調査38.3%）との回答が多かった。

問 15 問 2 で「②飼っていない」を選んだ方にお伺いします。

その理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 集合住宅（アパート・マンションなど一戸建てでないもの）であり、禁止されているから
- ② 家や庭が狭いから
- ③ 家族が反対するから
- ④ 十分に世話ができないから
- ⑤ お金がかかるから
- ⑥ 家や庭が汚れるから
- ⑦ 動物が嫌いだから
- ⑧ 死ぬとかわいそうだから
- ⑨ ペットからうつる病気があるから
- ⑩ 動物に危害を受けたり、迷惑を受けたことがあるから
- ⑪ その他（ ）

図15 ペットを飼わない理由



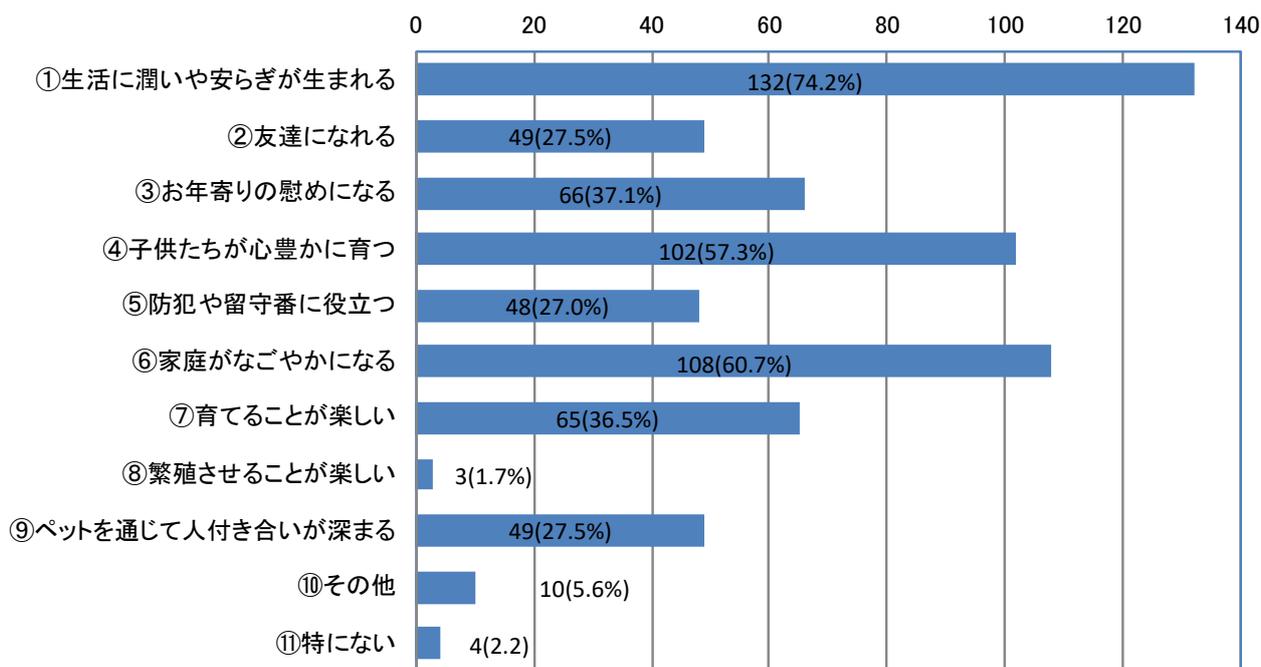
ペットを飼っていないと回答した者（113名）に、その理由について聞いたところ、「十分に世話ができないから」が61.9%（前回調査58.6%）と最も多く、次いで「死ぬとかわいそうだから」が43.4%（前回調査39.7%）であった。

問 16 全ての方にお伺いします。

あなたは、ペットとして動物を飼うことについて、良いと思うことはどのようなことですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 生活に潤いや安らぎが生まれる
- ② 友達になれる
- ③ お年寄りの慰めになる
- ④ 子どもたちが心豊かに育つ
- ⑤ 防犯や留守番に役立つ
- ⑥ 家庭がなごやかになる
- ⑦ 育てることが楽しい
- ⑧ 繁殖させることが楽しい
- ⑨ ペットを通じて人付き合いが深まる
- ⑩ 特にない
- ⑪ その他 ()

図16 ペット飼育が良い理由



ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うことはどのようなことかと聞いたところ、「生活に潤いや安らぎが生まれる」が74.2%（前回調査75.6%）と最も多く、以下、「家庭がなごやかになる」60.7%（前回調査54.8%）、「子どもたちが心豊かに育つ」57.3%（前回調査59.6%）などの順で、前回調査と概ね同様の傾向であった。

問 18 災害発生時において、同行避難した犬や猫を避難所や仮設住宅で飼うことについて、どのようにお考えになりますか。次の(1)及び(2)にお答えください。

(1) 避難所において動物を飼養することについて。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 飼ってはいけないと思う
- ② 一定のルールを守れば飼っても良いと思う
- ③ 別に問題ではない
- ④ 分からない
- ⑤ その他 ()

(2) 仮設住宅において動物を飼養することについて。当てはまるものを1つ選んでください。

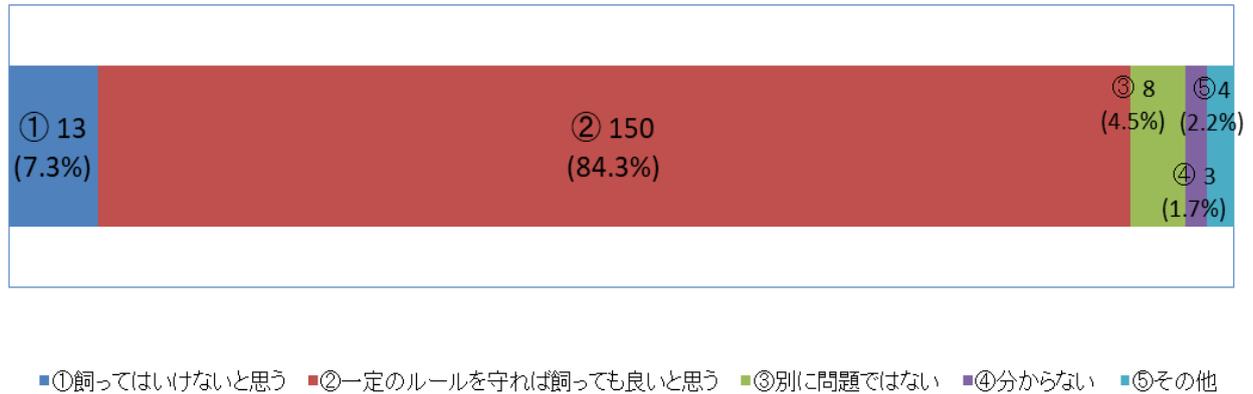
- ① 飼ってはいけないと思う
- ② 一定のルールを守れば飼っても良いと思う
- ③ 別に問題ではない
- ④ 分からない
- ⑤ その他 ()

図18(1) 避難所でのペットの飼育について



災害発生時において、避難所でペットを飼養することについての考えを聞いたところ、「一定のルールを守れば飼っても良いと思う」73.6%（前回調査 79.8%）が最も多かった。また、「飼ってはいけない」との意見は 19.1%（前回調査 13.0%）であった。

図18(2) 仮設住宅でのペットの飼育について

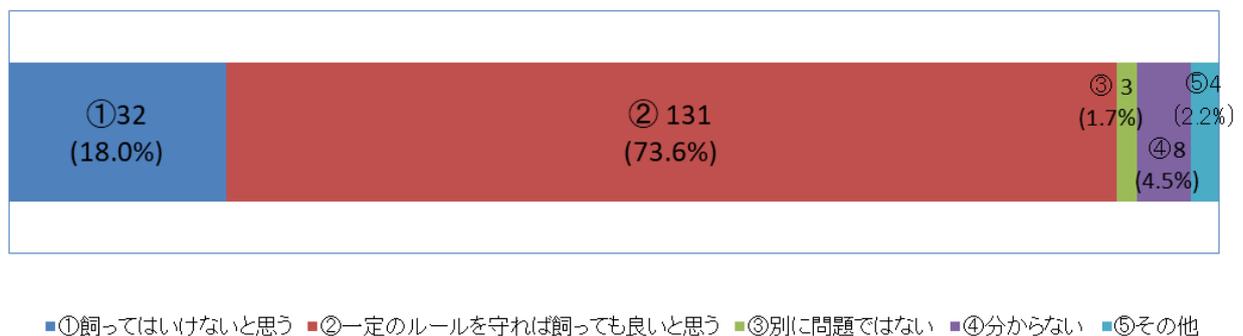


災害発生時において、仮設住宅でペットを飼養することについての考えを聞いたところ、「一定のルールを守れば飼っても良いと思う」84.3%（前回調査 81.1%）が最も多かった。また、「飼ってはいけない」との意見は7.3%（前回調査 7.6%）であった。

3 ペット飼育の是非について

- 問 19 集合住宅（アパート、マンションなど一戸建てでないもの）で犬や猫を飼うことについて、どのようにお考えになりますか。当てはまるものを1つ選んでください。
- ① 飼ってはいけないと思う
 - ② 一定のルールを守れば飼っても良いと思う
 - ③ 別に問題ではない
 - ④ 分からない
 - ⑤ その他（ ）

図19 集合住宅でのペットの飼育について

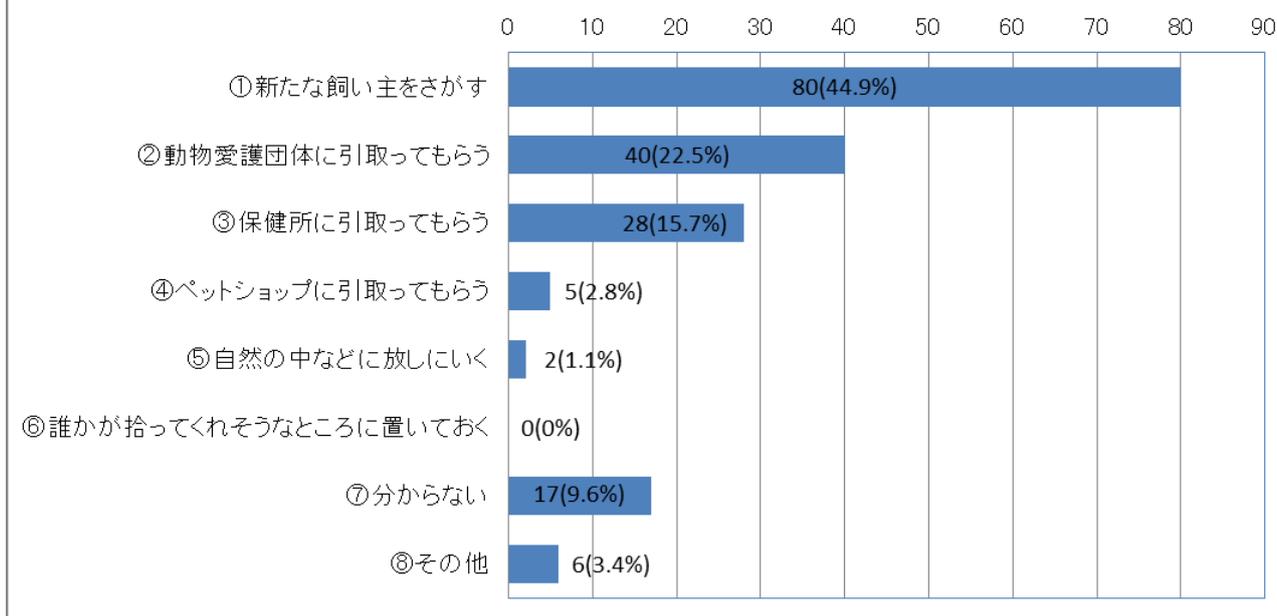


集合住宅の中には犬や猫を飼ってはいけないところがあるが、集合住宅で犬やねこを飼うことについてどのように考えるか聞いたところ、「一定のルールを守れば飼っても良いと思う」73.6%（前回調査 71.1%）が最も多かった。また、「飼ってはいけない」との意見は18.0%（前回調査 25.6%）であった。

問 20 飼っている犬や猫などがいろいろな事情で飼えなくなった場合、あなたはどのようにしますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 新たな飼い主を探す
- ② 動物愛護団体に引き取ってもらう
- ③ 保健所に引き取ってもらう
- ④ ペットショップに引き取ってもらう
- ⑤ 自然の中などに放しに行く
- ⑥ 誰かが拾ってくれそうなところに置いておく
- ⑦ 分からない
- ⑧ その他 ()

図20 飼えなくなったペットの処置

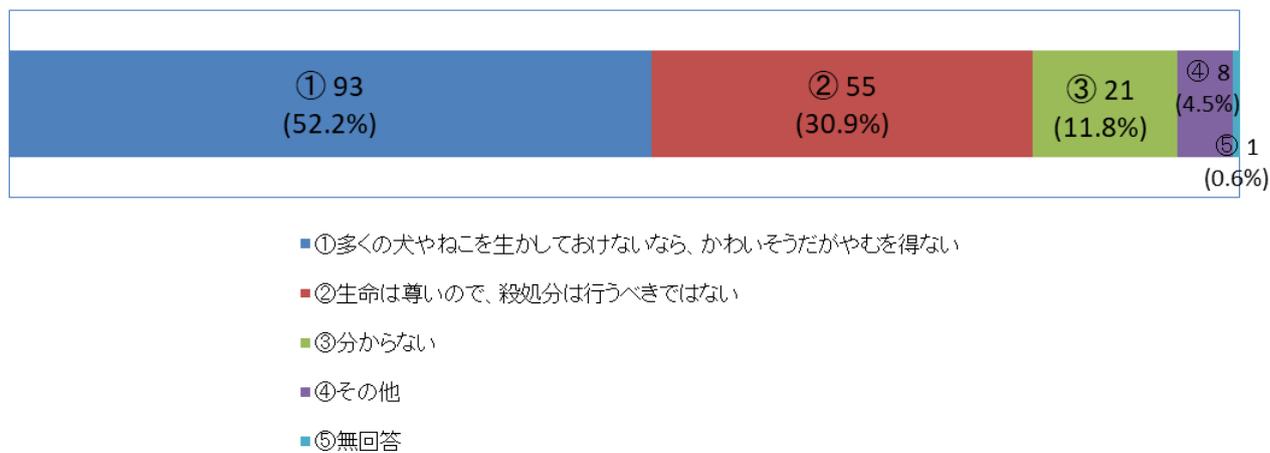


家庭で飼っていた犬や猫などが、いろいろな事情で飼えなくなった場合、どうするのがよいと思うか聞いたところ、「新たな飼い主をさがす」44.9%（前回調査 55.6%）が最も多く、次いで「動物愛護団体に引取ってもらう」22.5%（前回調査 23.7%）、「保健所に引取ってもらう」15.7%（前回調査 16.3%）などの順となっていた。

問 21 本県では、保健所に引き取られた犬や猫について、可能な限り生存の機会を与えるような取組を行っていますが、それでもやむを得ず、安楽死処分を行う場合があります。あなたはこのことについてどのようにお考えになりますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 多くの犬や猫を生かしておけないなら、かわいそうだがやむを得ない
 ② 生命は尊いので、殺処分は行うべきでない
 ③ 分からない
 ④ その他 ()

図21 ペットの安楽死処分について

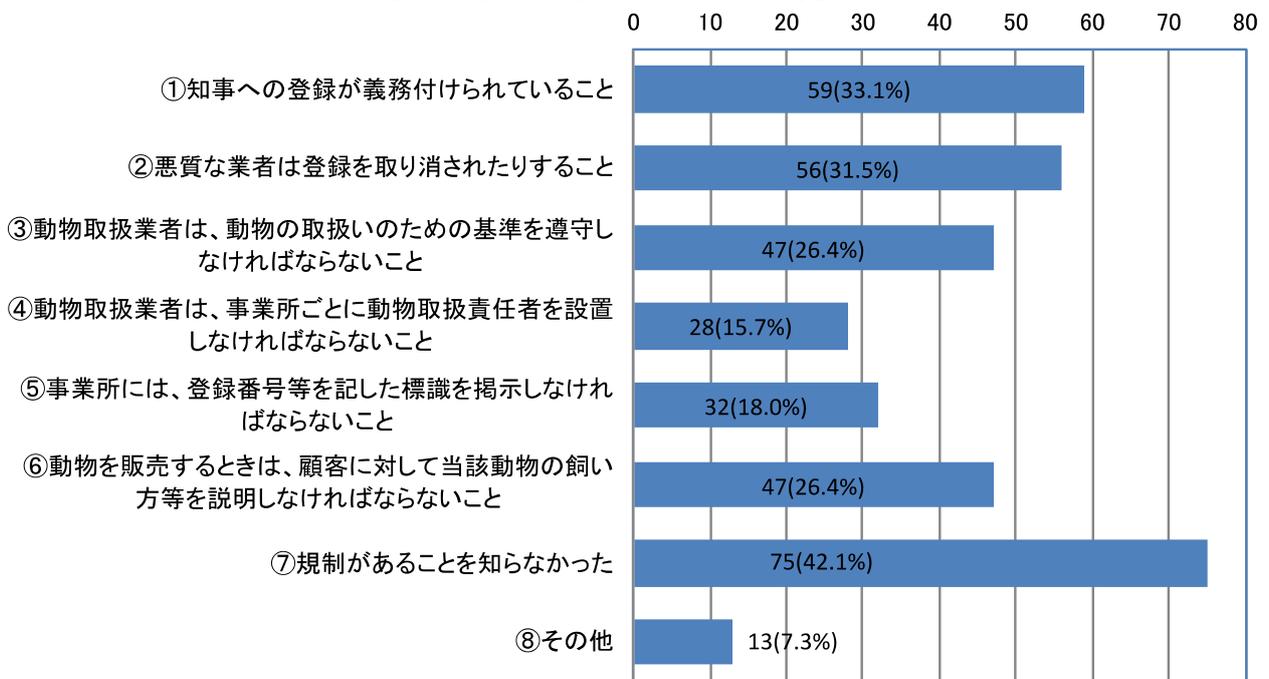


保健所に引取られた犬や猫の安楽死処分についてどのように考えるか聞いたところ、「多くの犬や猫を生かしておけないなら、かわいそうだがやむを得ない」52.2%（前回調査 60.4%）が最も多く、以下「生命は尊いので、殺処分は行うべきではない」30.9%（前回調査 20.0%）、「わからない」11.8%（前回調査 15.9%）などの順となっていた。

問 23 動物を取り扱う業者に対しては、法律により様々な規制が行われていますが、あなたはその内容を知っていますか。知っている内容を全て選んでください。

- ① 知事への登録が義務付けられていること
- ② 悪質な業者は、登録を取り消されたり業務の停止命令を受けることがあること
- ③ 動物取扱業者は、動物の適正な取扱いを確保するための基準（施設の構造設備や動物の管理の方法に関する基準）を遵守しなければならないこと
- ④ 動物取扱業者は、事業所ごとに動物取扱責任者を設置しなければならないこと
- ⑤ 事業所には、氏名、登録番号等を記した標識を掲示しなければならないこと
- ⑥ 動物を販売するときは、顧客に対して当該動物の特性や飼い方、病歴、ワクチン接種の状況等について説明しなければならないこと
- ⑦ 規制があることを知らなかった
- ⑧ その他（ ）

図23 動物取扱業者に対する規制の認知状況



動物取扱業者に対する規制の内容を知っているか聞いたところ、「知事への登録が義務付けられていること」33.1%（前回調査31.5%）が最も多く、次いで「悪質な業者は登録を取り消されたりすること」31.5%（前回調査34.8%）「動物を販売するときは、顧客に対して当該動物の飼い方等を説明しなければならないこと」及び「動物取扱業者は、動物の取扱いのための基準を順守しなければならないこと」26.4%（前回調査25.2%）などの順となっていた。

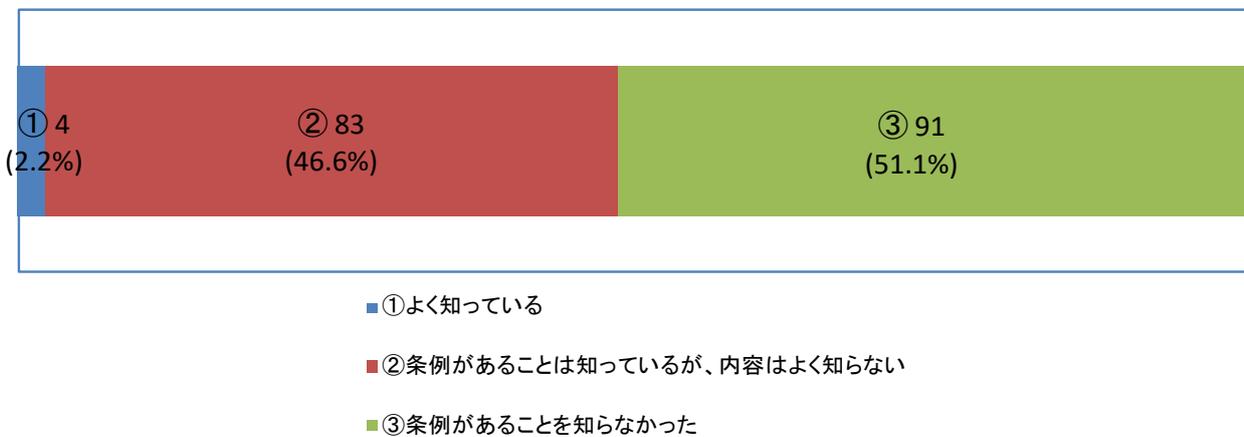
また、「そういう規制があることを知らなかった」は42.1%と前回調査（41.5%）とほぼ同様であった。

5 動物愛護管理政策の推進について

問 24 本県には、動物愛護と動物の適正な飼い方について定めた条例（動物の愛護及び管理に関する条例）がありますが、あなたはこの条例を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① よく知っている
- ② 条例があることは知っているが、内容はよく知らない
- ③ 条例があることを知らなかった
- ④ その他（ ）

図24 動物愛護条例の認知状況

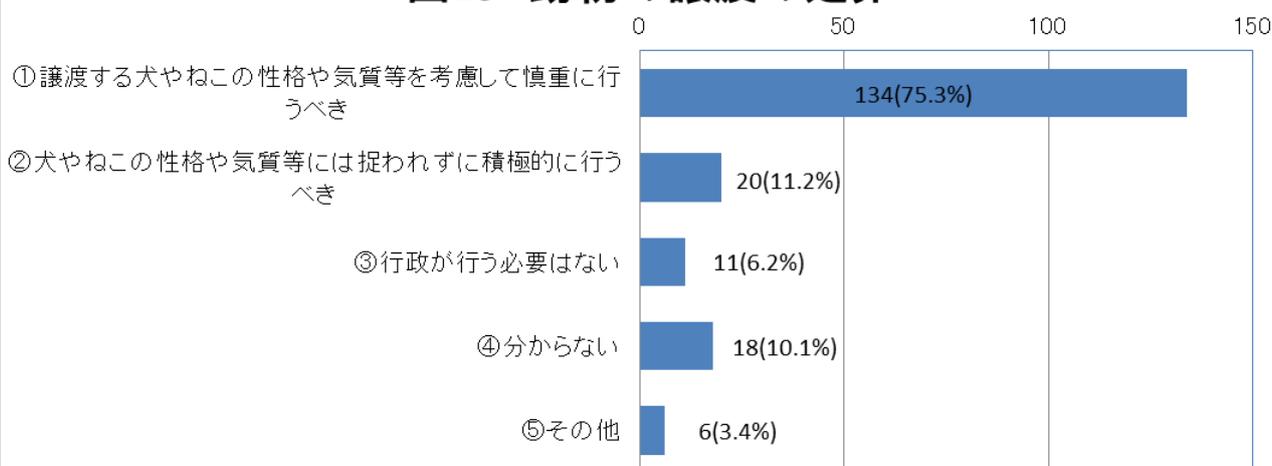


岩手県の条例「動物の愛護及び管理に関する条例」を知っているか聞いたところ、「そういう条例があることを知らなかった」が 51.1%（前回調査 51.1%）で最も多かった。また、条例があることを知っている者でも「よく知っている」が 2.2%（前回調査 3.0%）であり、条例の認知度は半数程度にとどまった。

問 25 保健所で引き取った犬や猫を新しい飼い主に譲渡することについて、あなたは、どのようなお考えになりますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ① 犬や猫の性格や気質、健康状態、新しい飼い主となる人の飼養環境、飼育経験、動物に関する知識など考慮して慎重に行うべき
- ② 犬や猫の性格や気質、健康状態、新しい飼い主となる人の飼養環境、飼育経験、動物に関する知識などにはあまり捉われずに、積極的に行うべき
- ③ 行政が行う必要はない
- ④ 分からない
- ⑤ その他 ()

図25 動物の譲渡の是非



動物の譲渡の是非について聞いたところ、「譲渡する犬やねこの性格や気質、健康状態、新しい飼い主となる人の飼養環境、飼育経験、動物に関する知識などを考慮して行うべき」が75.3%（前回調査75.2%）と最も多く、「犬やねこの性格や気質、健康状態、新しい飼い主となる人の飼養環境、飼育経験、動物に関する知識などにはあまり捉われずに、積極的に行うべき」は11.2%（前回調査16.3%）で、適正譲渡を望む声が大半を占めた。また、「行政が行う必要はない」との回答は6.2%（前回調査8.5%）であった。

本県に「動物愛護センター」を設置する場合に必要なと考えられる機能について聞いたところ、「犬や猫などの正しい飼い方やマナーの普及啓発」が79.2%と最も多く、次いで「子供たちに命の大切さを伝え、思いやりの心を育む取組」65.7%、「災害が発生した場合の犬や猫などの一時預かり」62.9%、「譲渡のためのしつけ及び飼い主とのマッチング」60.7%などの順であった。

問 28 動物の愛護や動物の適正な飼養に関して、御意見・御提言等がありましたら、御自由にお書きください。

1	人間も動物なのに森以外は人間のものだと思っている。県道・市道・私道元々は、人間以外の獣道だったかもしれないのに。弱者を守れて、初めて人間になれるのではないかと？別に人間になりたくないけど…
2	動物が命を全うするまで責任を持って飼養する意識を高めるための啓蒙活動をしてほしい。保護動物などの愛護センター設立を望む。地域ネコの活動などボランティアで飼育活動をしているグループなどへの援助を検討してほしい。
3	子供達が小さかった頃、犬も猫もいた。猫はいつの間にか、かくれて子供を沢山産んで、困り保健所にお願いしに行った。かわいいうちならもらってくれる人もいるという言葉が救いだった。殺生という罪悪感はぬぐえない。動物と暮らすのは命がかかわるので大変だという思いでいる。
4	自分が好きで飼っているのだから、責任をもってしつけしてほしい。
5	1. 行政の過剰サービスにならないよう一線を画する必要がある。2. 義務教育学校現場には動物飼育を積極的に導入し、情操教育に役立てる。
6	繁殖しすぎて、育てられない状況にならないように責任をもって飼うべきだと思う。決して、動物も人間と同じ命だから無駄にしてはいけないことを自覚しなければならないと思う。
7	「ペット」という枠にとらわれず、犬や猫もかけがえのない一つの命なので乱暴に扱ったり、いらなくなったら捨てるなどの人間勝手な行動や仕打ちの撲滅に力を入れてほしい、死んで見とるまでが「共存する」ということだと思うし、敬意を払わなければならないと考える。
8	動物も人間と同じと考えている。責任を持って飼養するという覚悟をもってやるべきと思う。自分はそこまでの覚悟ができないと考えているので、飼養はしないと決めている。
9	誰もが何かしらの支えを必要としている。生活が個別化していく現状に、人以外が必要となったら、ペットもそのひとつではないか。
10	前、犬、うさぎなど飼っていたが、犬は15才まで生きた。すぐ、犬を飼おうかと思ったが、自分たちの寿命を考えて、さびしかったがあきらめて、道であう犬たちでいやされている。今考えるに、飼い主も健康でなければ、かうべきではないかと思う。
11	私はアルバイトとして、アニマルカフェで働いている。動物が好きで、家でも犬猫トカゲを飼っていて共に暮らしている。最近考えるのはニュースで災害などの内容をみると、「もし災害が起こったらこの子たちはどうなるのだろう」ということだ。矢巾町には動物が大好きな人がたくさん住んでいる。人間も動物も安心できる取り組み（災害時）があるといいと思う。
12	災害時、ペットがおかれる状況・場所の安定的な確保、指示が望まれる。トラブル回避の為
13	私の周りに動物虐待している人はいないが、もし見かけたり、知った場合にどこに通報したらいいのかわかりません。通報先も周知してほしい。
14	可愛くって飼っていると思うが、やはり、しつけがなっていない犬は怖い。
15	動物は畜生なので仕方がないが、飼い主がマナーをしっかりと守ってもらいたい。

16	野良猫を定期的に捕獲・去勢して放す、犬の飼主に「ふん」の処理を定期的に指導してもらいたい。
17	ノラ犬はあまり見かけないが、ノラネコの多さにはびっくりだ。責任のある飼い方ができないものか？業者の規制は解るが飼い主への規制などが必要。罰則も含め、餌はやるけど、ノラだから関係ないと言われてしまう。
18	県と民間の動物愛護団体と協力して、動物の命の大切さを教える企画・イベントを行い伝える。
19	動物は大嫌いなので、アンケートの答えも「分からない」所がある。
20	動物を飼う方のマナーとして最後まで責任をもって飼うべきだと思う。動物を飼う場合に家族の一員、人生のパートナーとして大事にすると伴に色々な事情で飼えなくなった場合は放棄しないような対応すべき。
21	飼い方マナーを守り、動物を愛護することを好む人にとっては、豊かな人生を送る一つの生き方だと思う。
22	<ネコについて>犬の様に登録の必要がないので飼いやすい猫ですが、野良猫と飼猫の区別が分からない。また、雄は増えないからと去勢手術を行わないまま放し飼いにしている事も耳にする。殺処分される動物を少しでも減らすためにも、最期を看取るまで責任をもって飼って欲しいと思う。地域猫と呼ばれる猫の不妊手術が岩手でも実施されると良いかな（理想）
23	犬や猫など迷惑にならないように飼う方のマナーを守る啓発PRをするべきと思う。
24	ペットは子どもの成長の際の情操教育、成人や高齢者の心の安寧、癒しにとっても貢献すると思うのでとても大切な人間のパートナーと思う。しかし、その中で、たいへんな環境にいるペットや主人が高齢のため先立たれて残されるペットなどやむにまれない事情も起きる。そのようなペットが安心して第二のペット生活を送れるような環境を整えていくことが大事だと思う。
25	県が取り組むべきことに関して、罰則的なものよりも、啓蒙、啓発、教育的な方向での取り組みが必要で、愛護意識を広汎なものとして行く為には、学校や社会教育の中でしっかり取り組む必要がある。年間には1時限でもカリキュラムに入ると良い。
26	可愛いからと赤ちゃんを産ませ、可愛い時期が過ぎたからと捨ててしまう無責任な飼い主もいる。
27	どんなに無責任で命を軽んじている行為だと伝えても、当の本人は何も感じていないというのが現実。
28	譲渡会や動物とふれあうイベントの積極的な開催を希望する。
29	近隣に猫好きで多頭飼育している人がいて、生活のすべてが自分の猫最優先である。そういう人たちのために行政が貴重なお金と労力を使うことが必要だろうか。
30	お互いがルールを守り、飼養をすれば良いと思う。①にルール②にルールで、実践する
31	「動物愛護センター」に関係するスタッフや予算ほどの位か。限られた財源なので、最小の機能にすべきと思う。
32	動物愛護センターができるのを楽しみにしている。 テレビや新聞・ポスターなどで宣伝を積極的にして、良い施設ができればと思う。 「買うなら岩手のもの運動」~買って、食べて地域を元気に応援キャンペーン~のCMがとても良くできていていいと思う。見た人が引き付けられるような宣伝で頑張って取り組んでほしい。"
33	県のセンター設置に賛成する。災害が多いので、避難所でのペットについては考えていかなければと思いました。
34	以前に犬を飼っていたことがあるが、何かの理由で飼えなくなった時はかわいそうだが保健所におねがいた方が良いと思う。野良犬となってそのへんをうろろして、みすばらしくなったらもっとかわいそうだと思う。

35	「殺処分〇件」という現状にプラス「こういう境遇の動物がいる、こんな性格だ、家族を探している動物がいる」という現状をもっと知ってもらいたいと考えている。各団体、行政、専門学校と県民が交わり、保護動物を知り、ふれ、最終的に迎え入れるラインが（現代ツールを使いながら動画や写真をアプリや SNS で。コロナでイベント開催が難しいため。）ふえていくとよいなと考える。
36	人間と同じようにペットの怪我や病気のとくに躰の仕方について、気軽に問い合わせるところやサークルがあるといい。または、飼い始めたときにそのサークルの情報を伝え、定期的にプッシュ型の情報提供をしたらどうか。
37	猫を飼っているが、玄関先に数回子猫を捨てていかれた事があり、可哀想なので面倒をみている。
38	全国で私的な理由で動物が捨てられたり保健所に預けられたりということが多すぎる。動物の命も人間も命も同じ。動物を購入する際の注意書きや性格のマッチング検査、定期的な飼い主へのセミナーなどを開催し、上記のようなことが起こらないよう、未然に防げるような対策や飼い主への考えた指導をしていけると良いと思う。
39	飼い主の高齢化や病気、災害などによって飼うことが困難になった時の対応を充実させてほしい。
40	動物を飼ったら、最後まで育てようという気持ちがない人は絶対飼うべきではない。
41	仙台市では、地域猫に関する条例が制定・施行されたと聞く。それについて、その実効性も含めて参考にしたり、研究に検討したりすることは、あるのか。
42	ペットと言えども家族の一員。最後まで面倒を見られる様、覚悟して飼うべきと思う。
43	生き物を大切に育てるための心得を学ぶ場として、動物とのふれあえる体験などのイベント開催・譲渡の際には飼い方やマナー以外に介護の現状やアドバイス、かかる経費など説明もあると参考になると思う。
44	・飼い主の迷惑行為に対する規則や指導を強めても良いと思う。・ポスターを張ったりしても限度があり、漫画(イワさんと二ポさん)新聞で4コマ、日報声・論壇での掲載に期待する。・啓蒙活動を広める。
45	生とし生ける物の命の大切さを認識する事。
46	ペットを買う時点で、よっぽどの覚悟が必要だと思う。又、犬や猫を好きだからと言って買い主がいらない動物に勝手にエサを与え続けている人を見かけるが、愛護とは、ほど遠い行為だと思う。
47	子どもの頃に犬に追いかけて、恐怖感が消えず、ペットは苦手。今はルールを守って散歩するようになったが、時々、家の前に糞があつたり、野良猫がいたずらをして困っている。他には、カラスの糞害で毎日外壁のそうじと死骸があると、もう、うんざりしている。自分で処理しました。
48	家で飼えなくなったペットを捨てたりする飼い主が発生しないよう、飼う前に教育などが必要だと思う。また、ペットを捨てた飼い主に対する罰則の強化や取締りの強化が必要だと思う。個人的な趣味でペットを飼うのに、個人的な理由で飼えなくなった場合に、税金を使って保護することには、少し違和感がある。
49	動物やペットは人間の生活になくてはならないものになっている。人間とペットが共生できるように学校・社会教育の場でもっと教育する必要がある。
50	ペットとして飼う場合は、途中で放棄することなく、最後まで責任を持つようにする。
51	可愛いからといって簡単に飼わないでほしい。今あなたが元気で散歩に連れていけるが、あと10年してあなたが年をとったり、体が不自由になった時、誰か代わりに散歩に連れていけるのか？慎重に考えて欲しい。
52	飼うなら責任を持って飼うべきだと思う。家の前に何度とフンをされて迷惑。

53	飼養する全ての動物に個体識別番号を付与したうえ、登録制度を義務化すること。加えて規制指導（巡回検査など）も強化すること。
54	ペットを飼えなくなった時の引き取り。
55	自分のまわりにも、犬や猫を飼っている人がたくさんいる。ルールを守って飼っている人たちが多いが、やはりマナー違反だと思う飼い方をしている人たちもいる。ペットの命をあずかっているという自覚をしっかりと持ち、最後まで責任をもって飼ってほしいと思う。
56	動物の正しい飼育について、様々な場面で事あるごとに県民にアピールする機会を増やして欲しい。
57	動物愛護センターの設置は、県民の一人として賛成したいと思う。
58	・国の基準をもとに、県として、高い基準を設けてほしい。子犬の繁殖に規制をかけて今現在いる子犬以上はつくらせないようにして、今現在いる犬猫のことに集中してはどうか。ペット業者、保護団体、行政が連携して取り組めばいいのではないかな。例えば、きちんとしつけや予防接種など必要なことをする条件で、保護団体や保健所の犬猫をペット業者が販売してもいいのではないかな。・県民の意識改革も必要。ペットは保健所や保護団体から入手、という意識。世話できないなら、看取れないなら飼わないという意識。ハッキリしたメッセージを出したらと思う。
59	避妊手術の推進と補助金などの助成をする。
60	動物の愛護や適正な飼育は、飼い主の義務や責任に思う。私は子供の教育の為に犬を飼った。飼ってから子供達に動物の命や飼育方法を何度も説明してきた。今では子供達も責任をもって世話をしている。もっと世の中に動物の愛護や適正な飼育を理解してもらえるように取り組んでいくと動物と共存できる世の中になると思う。
61	今回の調査で動物の飼い方についての条例がある事を初めて知った。昔と比べると、今はペットを飼うマナーが普及しているが、まだまだマナーが守られていない部分は沢山あるように思う。特に田舎の方に多いように思う。(放し飼いやふんの始末の悪い事など)。犬猫以外にもペットは色々な動物がいる。今回は犬猫についてのアンケートだったと感じた。犬猫以外のペットの飼い方等のアンケートもあった方が良かったと思う。
62	保健所などの保護情報を見て、かと言ってわが家ではこれ以上ペットを増やすわけにも行かず、もどかしく思っている。ショッピング感覚で動物を購入したのはいいが、それまでの人間の生活は変えられず長時間の留守番をさせる、ものを言えない動物に合わせた飼育環境を取れない、飼育が大変になり手放してしまう…というようなケースがまだまだ多いと思う。迎え入れる前によく考えて、が1番だが、ブリーダー・ペットショップにも今より責任を与えて、不幸な動物たちが少しでも減ってくれるといい。
63	ペット受け入れ不可の避難所は悪い、融通が利かない、動物たちがかわいそう、というようなニュアンスの報道をよく見かける。そうではなくて、どうして受け入れ不可なのか、受け入れるとどういったことが起こってしまうのかを正しく県民に伝えてほしい。□災害時のペット一時預かりは、良い考えだと思うので、応援したい。
64	犬を飼っている人に言いたい。犬を繋いでいるロープを伸ばしている飼い主がいるが、歩行者や犬に慣れていない人はこっちにこないか心配だ。以前、犬を飼っている人がロープを伸ばして犬の散歩をしていたので恐る恐る後ろを歩いたが逆に犬がびっくりすると注意をされ、とても不快だった。ロープを短くして歩行者によらないようにするなど工夫をして欲しかった。
65	飼うための登録を必須とし、規制やルールを守らない無責任な業者や飼い主には、厳しく対応が必要と思う。
66	子供の時は、うさぎやねこを飼っていたが、今はフルタイムで働いており、不規則で飼うゆとりがない。質問もピンとこない部分がある。
67	多頭飼い調査や去勢の費用負担など、幸せになる動物が増えることを望む。

68	犬の散歩では、飼い主は使用の袋を持参するなど、マナーが向上していると感じている。
69	現在の問題点が不明である。飼う心構えの啓もうが必要ではないのか。(最後まで責任を持っている人がペットを飼えるのだろう)
70	動物を飼うことは人生を豊かにすると思う。他人に迷惑をかけない中で飼いたいものだ。
71	動物愛護センターは、実際に動物とふれあいができたり、イベントなどがなくても市民が集えるような、開かれた施設となることを期待する。
72	<p>動物も同じ、ひとつの生命を持つ、地球の住民であることを忘れてはいけない。近所でも、犬猫を飼うご家庭が増えている。昔飼っていたことを思い出すと、動物も家族であるということ、生命に責任を持つことが大切。犬だと狂犬病予防はもちろん、動物の一生を、飼い主みんなで向き合い、生命を大切にしてほしい。</p> <p>確かに、しつけをされている犬は、緊急事態や飼い主でない方に紐をお渡ししても、落ち着いていられて、しつけも本当に大切だと思う。</p> <p>動物にも心があり、譲渡会には様々な背景があり、動物たちがいるということ、実際に感じてほしい。</p> <p>コロナ禍で対策が大変な部分もあると思う。こんなときだから、一生に何度もない、大切なペットを見つける譲渡会は、実現してほしいと思う。</p> <p>こんなときだから、生命の触れ合いと学びが、子供達にも温かさを感じてもらえると思う。</p> <p>飼育には、人間と同じで犬猫らしく暮らせる環境だと思う。</p> <p>犬猫 ok の公園または施設、お散歩のときのマナー、犬猫 Instagram 岩手県などで、譲渡会の様子、可能な場合、譲渡後の犬猫の様子を一年後とか、オンラインで拝見できると迷っている方々も参加しやすいように思う。</p> <p>オンライン譲渡会なども、状況によってはあっていいと思う。</p> <p>また、災害時に動物を一時受け入れ可能な施設や犬猫を預かって大丈夫という応援サポートという体勢を地域ごとにつくり、情報を岩手県で確保すると隣町で受け入れるなど、できるように思った。</p> <p>言うは易く行うは難しだが、これからますます動物愛護へ自分も理解を深め、生命を大切にしたいと、今回のアンケートで強く感じた。</p> <p>貴重な機会をいただき、ありがとうございます。</p>
73	<p>保護する人たちがいるから、捨てる人たちが減らない。</p> <p>保護活動団体に対して、そのような認識を持つ人が少なくない。動物だから、という(考え)を捨ててほしい。姿かたちは違えど、同じ命。</p> <p>捨てるのは「人間の身勝手なアタマ」。一日も早く動物愛護センターができ、命に幸せが恵まれますよう祈っている。関係者皆さま。どうぞよろしく願いいたします。</p>
74	<p>数年前、他県にて保健所からペットとして犬を迎えたいと思い、応募したが、条件のなかに「子供のいる世帯は NG」との内容があり、悔しい気持ちがあった。ボランティア団体にも同条件が載せられており、何故かと理解はできるものの、なんとも言えない気持ちであった。結局は、何の条件もないペットショップにて購入した。これで良かったのかは今でも疑問だ。もちろん愛犬は大切だが、救える命があったのにとすると…。</p>
75	<p>動物との共生。人権ではなく、動物の権利、動物権？愛玩動物としてではなく、共に地球に生きる生命として、人間のわがまま、エゴでしかないとしても、きちんと動物と向き合い、様々なディスタンスで、犬も猫も、他の動物も、生きとし生けるもの、皆で生きて行く、永遠(とわ)の方舟、地球号！イーハトーブ、岩手がそんな発信地になればと願う。</p>
76	<p>家の中で大切に飼われている犬・猫はいいが、放し飼いの猫はしつけもされていないので他人の家の周りで食べ物を取ったり、ゴミをあさったり、病気を持ってくる恐れがあるので迷惑。昔は犬の放し飼いがあったが、こんな田舎でも放し飼いがなくなった。</p>

77	動物を飼うなら最後まで愛情を持って、家族として飼ってほしい。他人に迷惑をかけないように、クレームがある場合は、保健所で引き取るなど規制を厳しくしたほうがよい。飼えなくなったからといって途中で野放しなどしないように法律を作った方がよい。
78	絶対殺してはいけない。
79	基本的には、人間が人間以外の生物を、飼う事は人間のエゴイズムだと考える。私が高校生時代からの教えなので、40年以上になる。極端な考え方で、申し訳ない。
80	飼い主は責任をもち、最後までみとる。
81	動物愛護センターを早く設置して欲しい。そこからボランティアにつながったり、活動が広がればいいと思う。 災害時、ペット可の避難所もあればいいと思う。同じ動物でも性格や相性もあるので避難したからといって避難所の中には行けないかもしれないが、連れて行ってほしいという安心感だけでも欲しい。
82	動物の愛護や適正な飼い方について啓蒙・啓発活動を自治体が積極的に進めて欲しい。 猫に関して経済的理由により多頭飼育が散見されるので、避妊手術について公的助成が必要だと思ふ。多頭飼育する人が増えると衛生的でなくなる事により、近所から苦情が多くなり結果的に動物愛護の精神とは真逆の動物虐待等の現象を招くことになる。 犬や猫等のペットが果たす社会的役割として、医療機関・介護施設の入所者に対する医療効果がより高まることを客観的に評価する時代だと思ふ。 自治体が積極的に少子高齢化、核家族化等の進展に伴い、ペットは家族の一員、人生の良きパートナーとして重要な存在になっているなかで、県がペット行政を実施することは大賛成。
83	最近猫の放し飼いが多く、畑に穴を掘り、糞尿で困っている。飼い主の管理をお願いしたい。
84	動物の命も私達と同じ、オモチャではない。ブリーダーの金儲けのための安易な繁殖や、劣悪な環境下での飼育は厳しく取り締まるべき。本来ならショップでの販売も禁じて、譲渡や許可を得たブリーダーからの購入に限定すべきと考える。飼う側も十分な理解と覚悟をもってほしい。公共交通に犬も同乗したり、社会的に取り組みの進んでいるドイツなどの例を参考に、人も動物も幸せに暮せる社会を希望する。
85	良い情報を提供してくださると良い。
86	個人的には動物が好きではないが、飼う方には一定のマナーを持ってほしい。災害時などは本音を言えば避難所などに居たらいやだが、仕方ないと思ふ。
87	飼っている猫が怪我をして動物病院に連れていくと診察代や手術代が高くてびっくりした。なんとか安くならないか？保険か？動物用の保険があるのは知っているが、内容がよくわからないので、説明がほしい!!また、怪我をしても病院に連れていかず、自然に任せている人もいる。動物を病院に連れていく目安を知りたいと思ふ。
88	動物愛護センターの設置を初めて知った。もう決定事項なのか？あまり必要性を感じない。特にペットを飼っていない人には。ボランティアやサークル活動を支援すればよいのでは？
89	県、市役所などでの殺処分を行わないでほしい。犬、猫、動物にはつみ（責任）はない。人間が悪い。犬、猫、動物の本当の育て方、飼い方を教えてほしい。
90	殺処分は行うべきではないと思ふ。他県では、殺処分0（ゼロ）の県があるので、みならうべきだと思ふ。ペット、動物の本当の飼い方、お世話の仕方を教えてほしい。岩手県も殺処分をしないで、新しい親を探すべきだと思ふ。
91	基本的にはペットが死ぬまで面倒を見るべきだが、飼主の方が先に亡くなったりする場合があるので、その時の対応を行政で検討する必要があると思ふ。
92	昨今、家庭事情があるのかもしれないが自宅にての飼養が多い。私はやはり昔のように外で飼養したいと考えてしまう。（田舎で広い庭があるので…）全ての人がそうではないと思ふが、動物の為には家の中で車の中とは動物にとって良い!?!?どうなのであろうか疑問に感じる。ベビーカーに犬を乗せ赤ちゃん言葉で近所の人達と会話を聞いていると「大丈夫?!」と首をかしげてしまう状況。子どもより大人への道徳心を教えて頂きたいと感じる。

93	動物などの虐待や捨てられる動物が少しでもなくなるように活動している団体やボランティアがいて助かる動物の命が増えていると思うが、なにより飼い主が責任を持って飼育していくことが大事だと思う。
94	犬、猫などのペットも色々な問題があると思うが、祭りの出店でとった亀すくいの亀が大きくなり、また寿命も長いようなので自分の方が早く死んでしまった時の世話の心配がある。
95	自分は今までに、自宅で動物を飼った事がないので、基本的には動物の愛護については、積極的とも消極的ともどちらでもない立場だと思っている。色々な考えを持たれる飼主がいる世の中なので、一番にはその飼主達のモラルや対応にしっかりとした対策を取って頂きたい。犬、猫は喋れなくても、人間同士は言葉で理解できると思うし…。たまに、言葉の通じない動物みたいな人間もいるけども（笑）
96	我が家では、産直などから卵を購入して、チャボ、ウコッケイをここ 30 年くらい孵化させ、趣味と実益をかね飼育している。30 年前は近所に家はなかったが、最近増えて来て、鳴き声など不快な思いをさせているのでは気にしているが、卵を分けてあげたりしてなんとか、続けている。もみがらにまじったふん尿などは畑にまいて、肥料としている。
97	近所に猫屋敷があり、飼い主が野放しにしているため、色々な人が市役所にどうかしてほしいと陳情しても飼い主が頑固で聞き入れてくれないということがあった。というか、今も続いている。飼う人の自覚を促すため、飼う許可証みたいなものがあればと思う。
98	今の時期、エアコンをつけるまでの温度ではないので窓を開けているが、やはり近所でも開けているようで夕方になると犬の鳴き声が…とても気になっているが、我慢している。やはりしつけは大切だ！！
99	現代において野良猫への餌やり、まして、カラスにも餌をやっている人がいるという。「熊が出ました！」が連日の広報なのに夜のうちにゴミ出しをする人がいること。意識レベルの低さを感じる。先月地域の回覧板に市役所の方が「何故ゴミ抜き」がだめなのか具体的にそしてきっちり書いていて、啓蒙になった。
100	高齢になると世話することができなくなっていき、放し飼いになり、そのうち首輪をつけたまま、うろうろする犬が出て来る。猫も同じだよその小屋に入っている時がある。民生委員とか区長が高齢者の見回りの時、相談してきちんとできているか聞く必要があると思う。